	<h1 style="text-align: center;">会 報</h1> <p style="text-align: center;">— 新潟県少年自然の家後援会 —</p>	<p style="text-align: center;">[第 22 号]</p> <p style="text-align: center;">平成23年 2月10日</p> <p>事務局 新潟県胎内市乙字大日裏 新潟県少年自然の家内 〒959-2602 TEL0254(46)2224 FAX0254(46)3070</p>
---	--	--



自然がはぐくむ 子ども達の夢

胎内市長 吉田 和夫

自然体験の場として親しまれてきた「新潟県少年自然の家」も開所から38年を迎え、当初活動されてきた方がお父さん、お母さんになり、今はその子どもたちが体験活動を満喫しております。

現在も県内外から年間3万人を超える人たちに利用されており、この自然に満ちた環境を維持するために後援会の皆様をはじめとし、地域ボランティア等多くの方々のご支援、御協力で心より感謝申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く社会環境も変化してまいりました。情報化がさらに進み、

子どもたちはテレビやインターネット等から手軽に知識を得ることができます。しかし、そこから得られた情報はあくまでも仮想的なものであり、実際の体験から得られる知識や感動は、それとは比較にならないほど、子どもたちの心に深く刻まれます。本年4月に小学校で全面実施される新学習指導要領においても、自然体験やものづくりなどの体験的な学習活動を積極的に取り入れることが求められています。

「少年自然の家」は、自然体験や集団生活をとおして新たな発見や感動が得られ、友達との絆を深め、自分自身の新しい一面を見つけだし、子どもたちの夢をはぐくむ場と考えております。

今後とも子どもたちが感動を得られる体験活動ができますよう後援会の皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

思いはグラウンド一周

新潟県少年自然の家
所長 齊川 豊



一昨年、後援会の皆様のご協力のもと、グラウンドの2カ所にタイヤ遊具を設置しました。そして、昨年度末には、既存のアスレチック遊具7基に加え、5基を増設しました。子どもたちからは、とても喜ばれています。

今年度は、タイヤ遊具の一層の充実を図ろうと新たにタイヤを設置することを後援会にお願いしました。当日は、あいにくの空模様でしたが各地区から5人ずつ参加いただき、瞬く間に作業が終了しました。2列に並んだタイヤはとても跳びやすく、形良く配置されています。

その時ふと考えが浮かびました。タイヤ遊具でグラウンドを一周させたら、子どもたちにもっと楽しんでもらえるのではないかと、またタイヤ遊具とアスレチック遊具を組み合わせることで、体力づくりにも活用できるのではないかと、思いは膨らみます。

グラウンドから自然の家を利用する子どもたちの歓声が聞こえ、週末には地域の子どもたちが走り回っている。そんな姿を目指したいと考えます。そのためには後援会の皆様のご協力が不可欠です。今後とも、未来を担う子どもたちのために一層の御支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

環境整備に向けた活動

新潟県少年自然の家
後援会会長
乙区長 伊藤 謙豪



県少年自然の家は昭和48年8月の開所ですので満37年経ちました。その間、県内外から毎年3万人を超える子どもたち・保護者・先生方等が入所し利用しています。自然体験・宿泊体験・生活体験等さまざまな実体験を通じて健全な青少年をはぐくむ教育施設としての役割を果たしてきました。

しかし、広大な自然地内には赤松林、遊歩道には笹竹が繁茂しています。春先になると折れた松枝や倒木が遊歩道を阻み、松葉が堆積します。夏には、グラウンドやキャンプ場周辺に雑草が生い茂ります。美しい自然環境の中でウオークラリーやキャンプなど野外活動を楽しんでいただけるように、自然の家後援会は周辺の環境整備のための援助活動をしています。

例年4月には遊歩道の整備とかき集めた松葉を松葉小屋へ運ぶ作業、7月には草刈り作業を行っています。今年度はタイヤ遊具の設置作業もしました。ほかに乙中学校生徒や胎内グラウンドゴルフ連盟の皆さんからも松葉かき集め等奉仕活動に参加していただいています。

これからも3地区の方々からの温かい御支援御協力による後援会活動が、少しでも子どもたちの健全育成に役立てばうれしいと思っています。

今年度も多くの方々からご奉仕いただきました



松葉かき

- 平成22年4月6日 松葉等集積作業・・・胎内GGR
- 平成22年4月9日 松葉等集積作業・・・乙中学校全校生徒
- 平成22年4月18日 松葉等運搬処理作業
3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (13名)

伊藤 謙豪	田村 文夫	○川崎 孝
○南波 精咲	○小野 徹平	○斉藤 広司
○荒木 求一	○南波 憲治	◇天木 義人
南波 勝男	○南波 定敏	
○南波 昇	○川崎 克	

・桃崎浜地区 (12名)

伊藤 貞夫	本間 利之	安城 正一
三浦 昭男	○上野 万治	内山 誠
宮川 芳男	遠藤 愛子	小林 フミ
高橋 一平	須貝 敏幸	室本マリ子

・荒井浜地区 (11名)

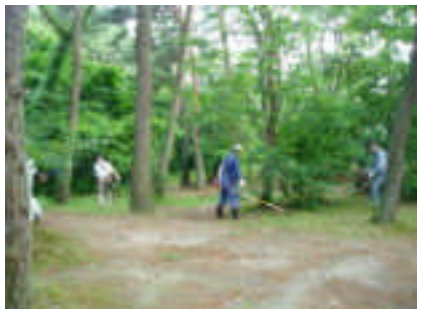
長野 彰夫	長野 正夫	古田 新一
八幡 弘	佐藤 実	野澤 修
阿部 吉一	斉藤 工	野沢 源治
佐々木 徹	山田 進	

・その他協力者 (2名)

時田 カネ	伊藤 弘子
-------	-------

※ ○軽トラック提供者、◇小型ショベル提供者

草刈り



- 平成22年7月4日
3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (12名)

伊藤 謙豪	小野 徹平	天木 義人
南波 精咲	川崎 勝	時田 保弘
荒木 求一	南波 定敏	
南波 勝男	川崎 喜一郎	
田村 文夫	高橋 英雄	

・桃崎浜地区 (11名)

伊藤 貞夫	藤木 繁一	宮川 芳男
三浦 昭男	本田 昌	小島 捨次
三浦 春男	藤木 恒夫	小嶋 栄
藤木 勝男	本間 吉之祐	

・荒井浜地区 (12名)

長野 彰夫	佐藤 実	山田 進
阿部 吉一	相馬 浩	古田 新一
佐々木 徹	阿部 正生	野澤 修
長野 正夫	斉藤 工	野沢 源治

緊急雇用創出事業による環境整備について

平成22年度緊急雇用創出事業による非常勤職員2名を採用し環境整備を図りました。



雇用期間 平成22年5月10日から
平成22年11月9日まで

環境整備の概要

- ・施設設備の点検、整備
- ・倒木、枯れ枝処理及び遊歩道整備
- ・施設周り等の草刈り、除草、花壇整備
 - 後援会等皆様方より集積していただいた、松葉の乾燥作業の実施
 - 子どもたちが気持ちよく利用できるように使用後のテント内清掃
 - 毎日の炊事場の清掃、炊事用具点検、焦げた鍋等の磨き作業



利用者からは、
野外炊さん場が朝の掃除により清潔で使いやすく、綺麗なところだと綺麗に使おうという気持ちになる。

用具など使いやすく片付けてあり次の人のために片付けるということが経験できてよかった。

草刈り等施設維持管理が徹底されていた。

等の意見が寄せられました。

環境整備に伴い後援会より、草刈機替刃、鋸、花壇用植木苗等購入しました。

平成23年度 後援会事業計画（案）

- | | | | | |
|-----------------|-------------------------|--|--|---|
| <p>◇タイヤ遊具設置</p> | <p>4 その他（未定）</p> | <p>3 広報紙の発行</p> <p>○後援会「会報」印刷・発行
全戸配布</p> | <p>2 遊歩道等の整備</p> <p>○雑木伐採・草刈り</p> <p>○遊歩道の補修</p> <p>○6月・7月奉仕作業「草刈り」</p> | <p>1 松林内の整備</p> <p>○松葉の集積</p> <p>○枯れ枝の搬出</p> <p>○4月16日奉仕作業「松葉かき」</p> |
|-----------------|-------------------------|--|--|---|